



文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業（機関連選型）」
ウーマン・テニュア・トラック教員制

岡山大学ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室



Newsletter



特集

第IV期WTT教員2名着任
第I期WTT教員 テニュア教員へ

もくじ

男女共同参画室からのメッセージ／	
特集 第IV期WTT教員2名着任	1
第I期WTT教員 テニュア教員へ	2
平成25年度 第1回研究スキルアップ講座／	
平成25年度 岡山大学オープンキャンパス参加企画	
「理系の魅力 女子高生の皆さんへ」	3
女性サポート相談室だより／新室員紹介／	
ミニコラム／クイズ／編集後記	4

男女共同参画室からのメッセージ



岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室は本年で開設以来5年目を迎えました。日頃のご支援を感謝申し上げます。この間、平成21年度には文部科学省の「女性研究者支援モデル育成事業」に採択され、女性研究者の支援が大きく進みました。例えば、保育施設などの整備や研究支援員制度の設立です。これらは出産、育児などのライフイベントや介護などに際して、必要に応じて男女の区別なく利用することが可能です。また、科学技術基本計画で目標とされている自然科学系学部的女性教員比率増については、各局で数値目標を定め取り組んでいただいておりますが、全学的にはウーマンテニュアトラック（WTT）制を設置し、女性教員の積極的な採用を進めているところです。本年10月までに計13名のWTT助教が採用され、第I期採用者の4名がテニュアを取得し、テニュア教員に採用されました。WTT制度は、平成23年度から3年続けて文部科学省の「テニュアトラック普及・定着事業」に採択され、ますます支援が充実しつつあるところです。

大学は性別に関わらず個人がその持てる能力を最大限に発揮できる場とならねばなりません。そのためには、このような制度上の整備は必要ですが、それ以上にそれを支える構成員の意識が重要です。誰もが等しく活躍できるように、相互に認め、理解し、尊敬する組織で在りたいと願いつつ活動に取り組んで参りたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成25年10月1日

男女共同参画室長 富岡 憲治

第IV期WTT教員2名着任



左から 五福明夫教授、増田潤子先生、齋藤光代先生、富岡憲治教授

ますだ じゅんこ
増田 潤子

所 属	大学院自然科学研究科
最終学歴	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科 人間環境科学専攻
前 職	アメリカ国立衛生研究所 研究員

【研究の紹介】

造血幹細胞移植は急性白血病治療に用いられますが、強い化学療法と放射線治療が必要で、それに伴う副作用や合併症が起こり得ます。私は、このような副作用や合併症を起こさず、より多くの患者さんを治療することができるような造血幹細胞移植方法の開発に取り組んでいます。

【WTT教員としての抱負】

他大学の助教やアメリカ留学などの経験を経て、今回岡山大学WTT教員のチャンスいただきました。事務や教員スタッフの方、学生さんたちに暖かく迎えていただき、とても感謝しています。自由で恵まれた研究環境なので充実した研究生生活を送る事ができそうです。また、教育者としても、これまでに得た知識と経験を活かしながら、成長していきたいと思っています。

さいとう みつよ
齋藤 光代

所 属	大学院環境生命科学研究科
最終学歴	広島大学大学院生物圏科学研究科 博士課程修了
前 職	愛媛大学沿岸環境科学研究センター 日本学術振興会 特別研究員 (PD)

【研究の紹介】

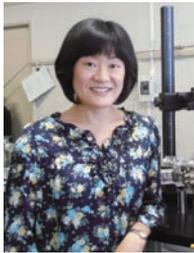
沿岸域は河川水、地下水および海水の3種類の異なる水が流動・混合し複雑な物質循環を形成する場所です。私は、中でも特にこれまであまり明らかにされていない地下水による海域への物質輸送とその生態系への影響に着目し、物理-生物地球化学的観点から研究を行っています。

【WTT教員としての抱負】

陸と海との繋がりを研究・教育するには絶好のフィールドである瀬戸内海沿岸の岡山大学で、このたびWTTという貴重な機会を与えて頂きました。所属学科には私自身の専門と異なる多分野の先生方がおられ、新しい知識や思考法を吸収しつつ研究の幅を広げていけることを期待しています。また、学生さん達のパワーに刺激を受け、助けられながら研究活動を通して一緒に成長していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。



第I期WTT教員 テニユア教員へ



えぐち りつこ
江口 律子 助教

所属 大学院自然科学研究科

【WTT3年間を振り返って】

WTTの3年間はあっという間でした。採用当時は初めての土地・研究室・教育経験など初めてづくしで、慣れるのに精いっぱいでした。2年、3年経ち、研究と教育活動のバランスがだんだんとわかってきたように思います。周りの先生方のサポートもあり、充実した3年間を過ごしてテニユアを取得することができました。第一期WTTとして3人の同期がいたことも心強かったです。研究の話や日頃の悩みなど、同年代の女性研究者と話せる機会はとても貴重でした。ありがとうございました。

－ 研究とプライベートでの抱負 －

岡山大学に来てから新しい研究テーマに取り組み、幸いにして研究費にも恵まれ新しい実験装置を立ち上げることができました。これからはこれらの実験装置を使ってじっくり研究を進めると同時に、新たな発見を目指して新しいことにチャレンジしていきたいと思います。私と同じく研究者の夫とは離れて暮らす日々ですが、いずれ落ち着いた生活ができるであろうことを願って、お互い切磋琢磨して頑張っています。



おごし まほ
御輿 真穂 助教

所属 大学院自然科学研究科

【WTT3年間を振り返って】

WTT期間中には時折このニュースレターに寄稿させていただいており、それをきっかけに学内の別部局の先生方とつながりができるなど、貴重な人脈を得ることができました。あっという間の3年間でしたが、自分はまだまだ多くの面で未熟であり発展途上です。メンターの先生をはじめ、男女共同参画室の皆様や周りの方々のこれまでのご指導・ご支援に感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

－ 研究とプライベートでの抱負 －

テニユア審査を経て、今年の4月から常勤の助教として採用されました。脊椎動物におけるホルモンの機能進化をテーマにしており、WTT期間中に培った人脈を活かして研究をさらに発展させていきたいと考えています。

プライベートでは去年結婚しましたが、生活には特に変化もなく過ごしています。抱負のようなものもないのですが、研究と家庭とのバランスをうまくとっていききたいと思っています。



にしむら みほ
西村 美保 助教

所属 大学院自然科学研究科

【WTT3年間を振り返って】

WTTの3年間を振り返ってみると、なんだか子供の頃の夏休みを思い起こさせます。そわそわした大きな期待感と、限りある時間の中にいるというじれったさ。この両方がよみがえってくるように感じられます。教員としてのステップを踏み出した充実した期間でした。初めての授業や、国内外での共同研究、国際シンポジウムの運営などたくさんの出来事がありました。その中で男女共同参画室企画のサイエンストークや交流会は、中高校生に研究の紹介をしたり、同じWTT教員の友達と親しんだりすることで、日頃の研究生活にアクセントとなる楽しさを与えてくれました。恵まれた研究環境と、メンターの先生をはじめとする多くの方のご指導と支え。こうした安定感のある環境に身を置かせていただきとても感謝しています。WTT期間を通して培った力を、今後の研究と教育、また家庭生活との両立に向けて、より伸ばしていけるよう努力していきます。



みたに なみき
三谷 奈見季 助教

所属 資源植物科学研究所

【WTT3年間を振り返って】

多くの方々に支えられ、10月よりテニユア教員として着任することになりました。WTTの期間を振り返って、多くの「初めて」を経験することができた、そんな3年半だったと思います。研究に関しては初めて自分で研究費を獲得することもでき、順調に進めることができました。また「おかやまサイエンストーク」などで、高校生を前に自分の研究を紹介する機会をいただけたことも、良い経験になったと思っています。プライベートでは、WTT期間中に出産を経験し、一児の母になりました。当初は時間的な制約ができたことに不安を感じることもしばしばでしたが、研究室や男女共同参画室の方々のサポートのおかげで、今こうして仕事と子育てに取り組んでいます。今後は自分の研究をこれまで以上に発展させることはもちろんのこと、岡山大学のために少しでも貢献できればと思っています。そのためにも私自身が家庭生活と仕事を両立させ、これから科学者を目指そうとする女子学生たちのロールモデルとなれるよう邁進してまいります。

イベント実施報告

Event Report

平成25年度

第1回研究スキルアップ講座

日 時：平成25年8月7日(水) 10:00~15:30

場 所：津島キャンパス 一般教育棟4階 A41

平成25年度第1回研究スキルアップ講座は、日本で科学英語の指導を行うミリンダ・ハル (Melinda Hull) 氏 (東京工業大学特任准教授) をお招きして開催しました。本学の若手教職員や大学院生ら約230人が参加し、「基礎から学べる! 英語論文書き方セミナー」というタイトルのもと、英語論文を執筆する際のスタイルやわかりやすく書くための文法、日本人研究者によく見られる誤りなどについて解説されました。また、日本人が書いた英語論文を例に分析も行われ、参加者らはメモをとるなど熱心に聞き入り、終了後には多くの質問が寄せられました。

次回のスキルアップ講座は、11月の下旬に、もう一度ハル先生をお呼びして、英語論文書き方セミナー第2回を各キャンパスで開催する予定です。奮ってご参加ください。



平成25年度 岡山大学オープンキャンパス参加企画 「理系の魅力 女子高生の皆さんへ」

日 時：平成25年8月9日(金) 11:00~16:00/8月10日(土) 11:00~16:00

場 所：津島キャンパス 学生会館1階 総合案内センター



2日目の協力学生



平成25年8月9日、10日の2日間にわたり、平成25年度岡山大学オープンキャンパス参加企画「理系の魅力 女子高生の皆さんへ」を開催しました。女子高校生を対象に、岡山大学に在学する理系(理学・工学・農学・薬学)の現役大学生や大学院生がフリートーキングを行ったほか、大学での研究に関するポスターの展示紹介を行いました。フリートーキングでは、参加した女子高校生から「なぜ理系に進学したのですか?」、「卒業後はどのようなところに進学できますか?」といった質問が挙げられ、大学生・院生たちは自身の経験を交えながらアドバイスをし、有意義な時間を過ごしました。

参加した女子高校生の声



「岡大リケジョは格好いい」「優しい笑顔で話をしてくれた」
「農学部は思ったとおり、すごく楽しそうだ」「今まで以上に薬学部の魅力を感じた」
「学部の候補を絞れた」

女性サポート相談室



相談室がプチリニューアル!

2010年1月に相談室が開室してから早3年半が経ちました。この間約250名の方が相談に来られました。室の名前があるように、相談者は女性を中心ではありますが、わずかに男性もご利用いただいています。相談内容で最も多かったのが「職場の人間関係」であり、次に学生や部下、同僚へどう対応したらいいのかという「コンサルテーション」でした。

相談室の活動の中で、「何を相談すればいいのかわからない」という声をよく耳にします。本相談室は基本的に心理的な問題を扱っているので、人間関係に関することが主な相談となります。具体的には、上司や部下、学生、同僚、パートナーとの関係を、カウンセリングを通して、どのように理解し対応していくのか一緒に考えていきます。カウンセリングは、相談者が必要性を感じなければ成立しません。多くの人が訪れることは決して良いことではありませんが、もしその必要性を感じたときに、連絡いただければと思います。



小さいお子様連れでもOK!

相談はこちらへ

- メールアドレス: support-w@adm.okayama-u.ac.jp
- 電話番号 (代表): 251-7011 (予約制)

よろしく願います!

新室員紹介

森 也寸志

大学院環境生命科学研究所・准教授



今年度から室員となりました森 也寸志です。一昨年、島根大学から異動して参りました。二人の娘がおり、「軟体動物」の頃からの関わりが功を奏してか、まだ仲良くしてもらっています。教員として人材育成に取り組みつつ、室員としてもWTT事業をはじめとする岡大の種々の取り組みについて学んでいきたいと思っております。

Q

クイズ

大好評だったスキルアップセミナーでハル先生が出されたクイズから2問を復習

- Q1** 以下の3つの内、正しいのはどれでしょうか? **Q2** 東京に行ったとき、中央線の車内で聞こえるアナウンス…なにかおかしい?
- a. $1+2=3$
 b. $1 + 2 = 3$
 c. $1 + 2=3$
- After Nakano, we will be stopping at all stations beyond.

※答えは下

編集後記

今年度から、男女共同参画室は、初代室長の沖陽子教授(副学長・附属図書館長)に代わり、富岡憲治教授が新室長として着任し、新体制で動いております。

また、本学のウーマン・テュア・トラック事業は第IV期目に突入し、新たなWTT教員を迎え、第I期のWTT教員は全員テュアの取得を果たしました。先日、沖初代室長がつくば市で開催されたシンポジウムで、「きらりと光る女性研究者に育つ資質とは?」というタイトルで講演され、本学のWTT事業を紹介いただきましたが、まさに第I期の先生方は、その資質をもって採用され、研究主宰者へキャリアアップされたのではないのでしょうか。

今後も、男女共同参画室の活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ

国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530
岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL: 086-251-7011 FAX: 086-251-7033
Email: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo

